

ごあいさつ

セブン-イレブン記念財団は、1993年11月、(株)セブン-イレブン・ジャパンの創立20周年記念事業として、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって“環境”をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に設立されました。セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金と、(株)セブン-イレブン・ジャパンなどからの寄付金をもとに、「環境市民活動支援」「自然環境保護・保全」「災害復興支援」「広報」の事業領域を設け活動しています。

環境市民活動支援事業では、事業の大きな柱として地域に根ざした環境市民団体の活動に対し、公募制の「環境市民活動助成」を通じて積極的な支援を行っています。

自然環境保護・保全事業では、日本の美しく、貴重な自然を次世代に残すために、霧多布湿原ナショナルトラストの活動をはじめ、様々な団体と協力して取り組んでいます。自主活動として、「東京湾UMIプロジェクト」や「セブンの森」づくりで自然再生に取り組んでいます。自然の大切さやすばらしさを学べる生涯学習の場を提供するために、大分県玖珠郡九重町で「九重ふるさと自然学校」を、東京都八王子市川町の公有地で東京都と協働して「高尾の森自然学校」を運営しています。

災害復興支援事業では、2006年から「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」、2011年から「東日本大震災復興プロジェクト」など、甚大な被害をもたらした自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。

広報事業では、自然環境の大切さに気づき、大人も子供も自分ができる身近なことから取り組みを始めていただきたいとの願いを込め、日本全国規模で行われる環境イベントの開催を支援しています。活動表彰は、活動している方々の励みになり、全国への情報発信の場となると考えています。

セブン-イレブン記念財団は、これからも環境市民団体、セブン-イレブン加盟店およびセブン-イレブン本部と力を合わせて、活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を展開してまいります。皆様のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

理事長 山本 憲司
(セブン-イレブン豊洲店オーナー)

